

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	37	事業名	ICT活用基本戦略の策定・実施			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	19	施策名	事業者の経営力向上に向けたICT活用促進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

首都圏等のメガマーケットから離れている地域性や小規模事業者が会員の多くを占める商工会組織において、ICTは地方のハンデや規模の弱点をカバーするため。

2. 事業のねらい

事業者の経営力向上につながる活用提案や商工会の業務効率化といった取組を進め、ICTに強い組織体制を構築する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
85	ICT活用基本戦略の策定・実施	平成31年3月の役員会にて承認。商工会へ公開し今年度から実施している。	a	a	a	A
86	情報化推進研究会の設置による検討	専門家、県、商工会職員をメンバーに設置し、5回実施した。情報の共有と事例研究を行い、基本戦略に反映させた。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード					取組コード						
指標名	指標名					指標名					指標名						
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

ICTの活用は事業者の経営力向上につながるため必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

計画の策定期間は遅くなったが、小規模事業者にとって実現可能な計画を策定した。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

ICTの活用は事業者及び商工会のコスト削減の手段として有効である。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

ICTの活用は、事業者の経営力向上や商工会の業務効率化につながるため、基本戦略による統一的な取組は効果大である。

3. 課題

情報化推進研究会の位置づけを検討する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

計画を直実に推進するための職員の能力向上や県、全国連、専門家との連携が必要である。